

事業所向け情報提供シート (No.) (表面)

発生日時:	年	月	日	/	:
記載日時:	年	月	日	/	:

◆消防隊が到着するまでにわかる範囲で結構ですので、記入をお願いします。また、裏面のチェックリストを参考に、**情報提供の準備をお願いします。**なお、119番通報された電話番号へ、出動した消防隊から折り返しのお電話を入れる場合がありますので、その際はよろしくお願いします。

消防技術説明者名:

No.	項 目		状 況	
1	発 災 施 設	施 設 名 発 災 箇 所		☐ 危険物施設 ☐ 高圧ガス施設 ☐ 毒劇物施設 ☐ その他
2	発 災 物 質	☐ 燃 焼 物 ☐ 爆 発 物 ☐ 漏 洩 物 ☐ 流 出 物	(物質名) _____ _____ (成分名) _____ _____ ☐ 水溶 ☐ 非水溶	☐ 非危険物 ☐ 危険物 第 ____ 類 ____ 石 引火点 ____ °C 発火点 ____ °C ☐ 指定可燃物 ☐ 毒劇物 ☐ ガス(空気より軽い・重い) ☐ 流出・漏洩量 約 ____ ℓ
3	要 救 助 者	☐ 有 ☐ 無 ☐ 確認中 場所 1: _____ 男 ____ 名 / 女 ____ 名 合計 ____ 名 場所 2: _____ 男 ____ 名 / 女 ____ 名 合計 ____ 名		
4	負傷者等の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 確認中 _____ 男 ____ 名 / 女 ____ 名 合計 ____ 名		
5	使用すべき消火剤	☐ 噴霧水 ☐ 泡消火剤 ☐ 粉末消火剤 ☐ その他()		
5	注 水 危 険 性	☐ 危険性あり ☐ 危険性なし ☐ 有毒ガス生成 ☐ 発熱・発火 ☐ 可燃性ガス発生 ☐ 棒状放水禁止 ☐ 水蒸気爆発 ☐ 禁水性物質		
6	二 次 災 害 險	☐ 有 ☐ 無 ☐ 確認中 (人体危険) ☐ 有毒ガス ☐ 高温ガス ☐ 感電危険 ☐ その他() 物質名: (爆発危険) ☐ 重合発熱反応 ☐ 圧力制御不能 ☐ その他() (拡大危険) ☐ 延焼 ☐ 流出		
7	応 急 措 置	発災施設の停止 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不能 隣接施設の停止 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 不能 活 動 状 況 ☐ 救助 ☐ 消火 ☐ 冷却 ☐ 希釈 ☐ 漏洩拡大防止	その他の措置	
8	周 辺 施 設 の 被 害 状 況	☐ 発災施設が炎上 ☐ 隣接施設へ延焼 ☐ 排水施設へ流出 ☐ その他:		
9	事 業 所	所在地: 名 称: 責任者:		

※ 未提供の情報は判明した時点で、また、状況変化により記載内容に変更が生じた場合は、直ちに消防隊へ情報提供をしてください。消防隊が到着していない場合には、再度、119番通報してください。

災害発生時に、専門的知識を有する方との情報共有体制を構築することで、本市の防災対応力の強化を図ります。

～ 災害共有体制(Disaster Information Sharing System(通称:DISS)) ～

【目標】

多数の人が出入りする大規模建築物や敷地面積が広い危険物などを取扱う事業所において災害が発生した際、施設情報や入場者情報、貯蔵されている危険物情報などの発災対象物の実態を熟知する関係者をいち早く確保し、情報を共有することができる体制を作ります。

【内容】

消防隊が現場到着した際に、情報提供シートを提出していただくとともに、災害現場まで誘導をお願いします。災害現場到着後は、現場指揮本部で引き続き情報提供や事業所内の連絡調整などをお願いします。

【期待される効果】

- ◆消 防・・・潜在リスクの把握による二次災害の回避⇒安全、確実、迅速な活動を実現
⇒人的・物的被害の軽減と災害の早期終息
- ◆事業所・・・マニュアルなどの作成・見直しによる危機管理意識の向上
⇒被害の拡大防止、人的・物的被害の軽減と事業所の早期復旧・業務の再開

＜情報提供チェックリスト＞

- ☐ 事故状況の「情報提供シート」(表面)は、わかる範囲で記入できていますか。
- ☐ 防火管理者や施設責任者など、施設に関する知識を有する方や権限をお持ちの方は到着していますか。
- ☐ 消火器などの消火設備は準備(使用)できていますか。
- ☐ 消火設備の案内(説明)ができる方はいますか。
- ☐ 施設、構内図、平面図、工程図は用意できていますか。
- ☐ セーフティ・データ・シート(SDS)は用意できていますか。
- ☐ 施設内で働いている方々の、名簿は用意できていますか。(氏名・年齢・生年月日など)
- ☐ 来館者の情報は整理できていますか。

＜情報提供スキーム＞

